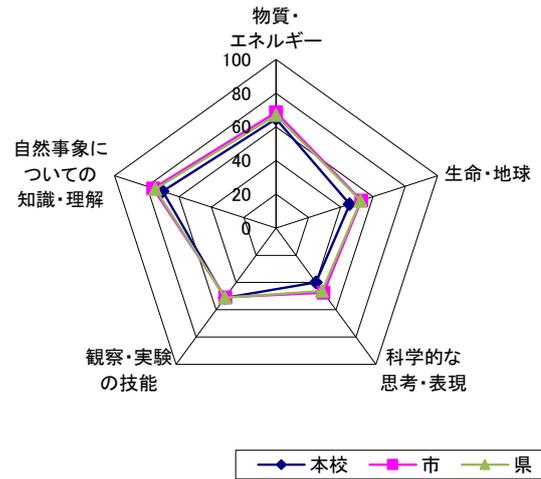


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	64.7	68.6	66.9
	生命・地球	45.6	52.8	52.4
観点	科学的な思考・表現	40.0	47.4	46.2
	観察・実験の技能	51.3	50.8	51.1
	自然事象についての知識・理解	70.2	76.1	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、県の正答率と比べて低い。</p> <p>○「電気で明かりをつけよう」の回路を作る際の導線の安全なつなぎ方を問う問題の平均正答率は、県平均を上回っている。</p> <p>●「電気で明かりをつけよう」の1つの豆電球と乾電池を使い明かりがつく回路を選ぶ問題の平均正答率は、県平均を下回っている。</p> <p>●「ものの重さ」のはかりの正しい操作の仕方を問う問題の平均正答率は、県平均を下回っている。</p>	<p>・電気の回路をつくる実験では、実験の目的をはっきりさせるとともに、実験の時間と回数をしっかり確保したことから、結果と知識が結び付き、知識が定着したと考えられる。今後も、実験を確実に実施するだけでなく、目的を明確にしながら実験を進めることで、思考力を高め、知識の定着を図りたい。</p> <p>・キーワードをあらかじめ示すことで、理由や根拠を自分の言葉としてまとめられるようにし、実験したことや学んだことを知識として定着させていきたい。また、まとめや振り返り活動で学んだことを日常生活と関連付けて考える活動を取り入れることで「実感を伴った理解」につなげていきたい。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、県の正答率と比べて低い。</p> <p>○「身近な自然の観察」の虫眼鏡の適切な使い方を問う問題の平均正答率は、県平均を上回っている。</p> <p>●「こん虫のかんさつ」の観察記録をもとに昆虫を選択し、選んだ理由を説明する問題の平均正答率は、県平均を下回っている。</p> <p>●「チョウを育てよう」の昆虫の成虫が食べ物がない場所にいる理由を説明する問題の平均正答率は、県平均を下回っている。</p> <p>●「じしゃくのふしぎ」の方位を調べる道具の名前を答える問題の平均正答率は、県平均を下回っている。</p>	<p>・方位磁針についての知識が定着するように、授業の中で再度指導するとともに、他教科での関連でも取り上げ、方位磁針の使い方を身に付けさせていきたい。</p> <p>・体験をたくさんしたほど知識・理解が深まっているため、今後も昆虫や磁石など多くの体験学習を個別に取り入れ、全員が理解できるようにしていきたい。また、問題・予想・計画・観察または実感・結果・考察・まとめの流れをていねいに指導し、体験して得た知識を定着できるようにする。</p>